

令和7年度 第2回名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会

日時：令和7年9月10日（水）18：00～19：30

場所：名寄市役所 名寄庁舎4階大会議室

出席者（10名）

◆委員会

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション北管理部 吉田 俊也 教授

名寄市立大学保健福祉学部栄養学科 工藤 慶太 教授

名寄商工会議所 臼田 進 専務理事（委員長）

風連商工会 川原 晴澄 補助員（欠席）

一般社団法人 名寄青年会議所 泉谷 暖 専務理事

JA道北なよろ 小川 和則 代表理事専務

上川北部森林組合 田中 英彰 専務理事（欠席）

上川北部石油業協同組合 木賀 義友 副理事長

ヤマト運輸株式会社 名寄営業所 佐竹 利幸 支店長（欠席）

北海道電力ネットワーク(株)名寄ネットワークセンター 蝦名 一喜 所長（欠席）

北星信用金庫 木全 哲也 地域支援部長

名寄市校長会 高橋 憲嗣 名寄小学校校長（欠席）

名寄建設業協会 五十嵐 幸次 理事（副委員長）

公募 若松 衣利加 委員

公募 山田 裕子 委員

◆事務局

総合政策部総合政策課 瀬野 課長

総合政策部総合政策課総合政策係 斉藤 主査（欠席）

総合政策部総合政策課総合政策係 横澤 主事

市民部 紀國谷 次長（欠席）

市民部環境生活課 合掌 係長

1 開 会

臼田委員長より開会

2 議 事

(1) ゼロカーボンシティ名寄ロゴマークデザインの選考について
[資料1-1~2]

(2) なよろエコパートナー事業について [資料2-1~3]

(3) 令和8年度実施事業の検討について [資料3]

(1) ~ (3) 事務局（総合政策課）から説明。

【質問・意見等】

(1) ゼロカーボンシティ名寄ロゴマークデザインの選考について

- ・最優秀・優秀賞1点ずつを事前に行った投票結果を基に選考

(2) なよろエコパートナー事業について

- ・エコパートナー事業について取り組んでいくことについてはよろしいか。(委員長)

→異議なし(委員)

- ・どの事業所もゼロ・カーボンという言葉自体は聞いたことがあるが、名寄市がどういうことを目指していかなどは分かっていない。また取り組む温度感にも差が出てくると思う。文書だけではなく、事業所に出向くなどの体制を徹底していかなければならないのではないか。(委員)

→説明会の開催のほか、件数によって対応できるかはわからないが、事業所に何うなど丁寧な対応をしていきたいとは思っている。今後の展開としても事業所に趣旨をご理解いただき、少しでも共に取り組む仲間を増やしていきたい。

- ・エコパートナーの表示があっても、市民の皆様にも制度を知ってもらわなければ事業者にもメリットもないと思うので、市民周知も併せてやっていく必要がある。(委員長)

- ・自主的な取り組みは1つ以上としているがもう少し増やしてもいいものか、委員の皆さんの感覚をお聞きしたい。(事務局)

→あなたの事業所はこのようなこともチャレンジできるのでは?というようにアドバイスをあげてみてもいいのではないか。(委員)

→1個以上としても結果的に3つ、4つできたというのもいいわけなので、最初からハードルを上げる必要はないのではないか。(委員)

- ・もう既にゼロカーボンの取り組みをしている事業所もある。そういう事業所にはメリットあるのか、何もやっていないわけではない。(委員)

→今後実施が予定されるエコパートナー大賞(仮称)で取り上げることも想定できる。様式に以前実施した取り組みについて記載欄を作ることも想定できる。

→事務局で再度検討をお願いしたい。(委員長)

→申込書に取り組みの記載欄を追加。ホームページ等に掲載する際には過去の取り組みも掲載する。

また今度取り組みを検討する際は、過去の取組等も意識した内容事業内容を考える。(事務局)

- ・具体的な取り組みについてチェックをつけるのはわかりやすくいいが、電気・燃料の使用量の実績を調べて数字を出すとなるとハードル高いと感じる。また、削減の実現性がない場合、企業のイメージダウンになってしまうため事業に参画することが難しいと感じる。(委員)

→事業所の燃料等の使用状況について可視化するためにも、数値として把握したいと考えていた。(事務局)

→必須項目とするのをやめたらどうか。(委員)

→任意とし、実績報告のみで入れる形でどうか。また、削減目標欄は削除してほしい。

→事務局で様式について改めて検討をお願いしたい。(委員長)

→必須項目から任意項目に変更。計画書の燃料報告欄を削除し、取り組み内容の一つとして項目を追加した。実績報告には欄を残しているが、順序を入れ替えた。任意項目としているが可能な限り協力いただくように呼びかけをしたい。(事務局)

(3) 令和8年度実施事業の検討について

- ・前年との比較はどのように行うのか(委員)

→対象月と前年同月の電気使用量のわかるものをオンラインフォームで報告いただく。削減量の比較は事務局で行う。(事務局)

→エネモール等の電力会社が提供する会員制のWebサービス普及のためにも、紙の請求書は対象外としてもいいと思う。(委員)

- ・100名限定だと、名寄市内の世帯数の1%未満である。10年継続しても10%未満であるから、少なく感じてしまう。(委員)

→エントリー数を増やして、達成者の上位100名にポイント付与などでも良いのではないかと。事務局の負担が増える可能性も考えられるが。(委員)

→夏場にクーラーを使わないようにしてしまうなど、身体に危険を及ぼしてしまうような誤ったメッセージとならないか。夏場の猛暑の期間は外すなど、考えても良いのではないかと。(委員)

→今回の事業内容は期間、対象人数、ポイント設定など他自治体も参考にしながら考えたもの。事業内容は再度検討したい。(事務局)

3 その他

今後のスケジュールについて

事務局（総合政策課）から説明

【直近の事業スケジュール】

エコパートナー事業者募集の開始 10月1日～

ロゴマークデザイン表彰式 10月16日(木)

【次回の委員会開催予定】

- ・事務局としては今年度は全3回の開催に変更し、3回目を2月下旬から3月上旬にかけて実施予定と考えていたが、本日ご意見等をいただき、再度検討をする事項もあることから、書面等にて確認事項があれば随時ご意見をいただきたいと思う。
- ・対面での開催について現時点の予定では2月下旬から3月上旬であるため、時期が近くなった際に

改めてご案内をさせていただきます。

4 閉 会

[会議資料]

- 資料 1-1 ゼロカーボンシティ名寄ロゴマークデザイン最終選考資料
- 資料 1-2 入賞候補作品一覧
- 資料 2-1 なよろエコパートナー事業について
- 資料 2-2 なよろエコパートナー事業実施要領（案）
- 資料 2-3 なよろエコパートナー事業使用様式（案）
- 資料 3 令和8年度実施事業の検討について